



2020年8月12日

各位

株式会社インプレスホールディングス

代表者名：代表取締役社長 松本 大輔

(コード番号 9479 東証1部)

問合せ先：執行役員 経営戦略室長 二宮 宏文

(TEL : 03 - 6837 - 5000 代表)

2021年3月期連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

■2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
今回予想	6,650	435	480	370	11.21円
(ご参考)前期実績 2020年3月期第2四半期	6,566	408	445	344	10.44円

■2021年3月期連結累計期間の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
今回予想	13,500	350	450	320	9.70円
(ご参考)前期実績 2020年3月期	13,507	431	521	374	11.36円

【公表の理由】

当連結会計年度の連結業績予想及び配当の予想について、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定としておりましたが、第1四半期連結会計期間の実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに、新型コロナウイルス感染症の事業リスクを織り込んだ第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想並びに配当の予想を公表いたします。

第1四半期連結会計期間においては、コロナ禍によるマイナスの影響はあったものの、電子書籍の販売増、書籍の返品品の減少に加え、ターゲット広告及びプラットフォーム事業が好調に推移したこと等で、前期比増収・増益となりました。

一方、第2四半期連結会計期間以降については、第1四半期連結会計期間において書籍等の返品が減少した結果、市中在庫の滞留による将来の返品リスクを抱えた懸念があることに加え、雑誌を中心に一層の広告需要等の落ち込み、イベントのオンライン開催への仕様変更等による規模の縮小等の影響が顕著となる見通しです。

以上により、第2四半期連結会計期間につきましては厳しい業績推移を想定しておりますが、増収・増益となった第1四半期連結会計期間の業績が下支えとなり、第2四半期連結累計期間の売上高は6,650百万円(前期比101.3%)、営業利益435百万円(前期比106.5%)、経常利益480百万円(前期比107.8%)の見通しです。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高は、ほぼ前期比同水準としているものの、リモートワークをベースとした業務ワークフロー構築へのDX投資、ファシリティ環境の整備等への一定規模の投資も加味し、減益の見通しとしております。

※ 上記業績予想は、経済活動及び景気動向が、現状から緩やかに改善していくことを前提としたものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等、様々な外的要因により変動する可能性があります。

2. 配当予想について

■2021年3月期期末配当予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
今回予想	—	2.00	2.00
前期実績 (2020年3月期)	—	2.50	2.50

【公表の理由】

当社の配当政策は、連結及び単体の業績及び財務状況に応じた利益配当を行うことを基本方針としており、最低限の配当を確保した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の基準としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想が未定であったことから未定としておりましたが、上記「1. 連結業績予想について」及び上記基本方針に基づき、1株当たり年間配当金の予想額を2.00円(前期実績2.50円)といたしました。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレスホールディングス 社長室 広報担当
TEL: 03-6837-5000 代表 / E-mail: release@impressholdings.com
URL: <https://www.impressholdings.com/>